

地域の歴史といまを読み解くおとなのまち探検

——まち歩き旅行商品造成の試み

島根県立大学地域政策学部地域政策学科地域経済経営コース2年

一ノ瀬 祐世・大内 志真・橘高 有飛・栗原 卓也・小島 悠輝・境脇 愛十・高橋 里・原 涼成・星加 裕哉・森山 稜大・林 秀司(教員)

取組のねらい

- 浜田市中心市街地の衰退
 - ← 商店街店舗の閉店や廃業
 - ← 来街者の減少
- 地域に対する関心の低下
 - ← 自家用車利用中心の生活行動



- 学生が案内するまち歩き旅行商品の造成
 - ⇒ 参加者と学生がまちを歩くことによる**賑わい創出**
 - ⇒ **地域に対する関心の醸成**と学びの深化

取組過程

- 協力者との意見交換
 - 一般社団法人イワミノチカラ
 - 浜田市産業経済部観光交流課
 - 一般社団法人浜田市観光協会
 - 浜田商工会議所
- 浜田市観光ボランティアガイドの会の活動視察
- 浜田市中心市街地のフィールドワーク
- 文献調査、インターネット調査
- まち歩き呂公商品の企画
- オンパクパートナーとして**いわみん**に参加
- 手持ち原稿・資料集の作成
- 浜田市観光ボランティアガイドの会の協力を得て、リハーサル実施(10月25日(土))



実施状況

- 日時 2025年11月8日(土) 9:30~13:15
 場所 浜田市まちなか交流プラザ発着
 参加者 一般3名・いわみん事務局1名・学生教員10名
 コース スタート
- ⇒ ①井戸平左衛門頌徳碑
 - ⇒ ②JR浜田駅(駅周辺の整備、神楽時計など)
 - ⇒ ③旧歩兵第21連隊雨覆練兵場
 - ⇒ ④三桜酒造跡地
 - ⇒ ⑤朝日町(江木蒲鉾店など)
 - ⇒ ⑥浜田地震震災記念の碑・橋本明治画伯の像
 - ⇒ ⑦紺屋町(三浦義武、島村抱月など)
 - ⇒ ⑧ジェンナー像
 - ⇒ ゴール



図1 まち探検のコース概要
(数値地図(オンライン)25000「浜田」の一部に加筆)

学生が分担して、先導し、案内を行った。その際、一般参加者との対話を心がけた。朝日町では赤てんの試食をさせてもらい、紺屋町ではコーヒーを練り込んだ羊羹をいただきながら休憩した。



▲井戸平左衛門頌徳碑



▲どんちっち神楽時計



▲旧歩兵第21連隊雨覆練兵場



▲ヨシタケ店舗跡地



▲石見交通浜田市内循環線で移動

学びの深化(駅周辺の変貌)

1970年代より駅南にあった道分山、万灯山が切り開かれ、現在の市街地が形成されていった。



図2 1976年(昭和51)のようす
(国土地理院撮影CCG769-C8-7に加筆)



図3 2010年(平成22)のようす
(国土地理院撮影CCG20101X-C16-7に加筆)

成果と課題

【成果】

- 参加者を得て、企画を実施できたこと
- 参加者と自分たちの学びにつながったこと

【課題】

- 参加者が少なかったこと
- 魅力的な商品を企画すること
- 運営上の問題があったこと
 - 十分な調査・研究
 - わかりやすく説明するための準備とスキル
 - 安全の確保や歩くペースなどの参加者への配慮

【参加者の声】

学生の皆さんが最初はぎこちないところもありましたが、いっしょけんめい、説明や案内をしてくださり、とてもうれしく、また、知らないことがたくさんあることも分かり、今後の励みになったところもありました。